



新潟大学教育学部附属長岡中学校

平成29年7月21日

附中だより

【第Ⅱ期 協働・充実】
第4号

学校の「特色」

副校長 杉山 敏

平成29年7月12日、国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校に関する有識者会議（第9回）において、「議論のまとめ案」が出された。その内容は誰でも文部科学省HPから閲覧できる。刺激的な議論が行われたようだ。

○附属学校は、それぞれの学校ごとに、公立学校とは異なる国立大学の附属学校としての存在意義や役割及び当該学校ならではの特色を明確にするとともに、各大学は、附属学校園全体としての存在意義・役割分担・特色を明確にするべきである。

○附属学校教員がかかる膨大な労力と時間の割に、その研究成果が地域や全国で十分に活かされていない。

○例えば教員の多忙化解消のための業務の精選など、附属学校が先導的に取り組むことによって同様の動きや課題意識が地域に徐々に広がっていく「起点」ないし「拠点」となる動きも含めて、公立学校の広い意味のモデルを目指すべきである。

ごく一部の抜粋である。当校の「特色」については後援会や素心会からの絶大なご協力により明確になっている。今後は一層のスピード感が必要と思われる。「特色」はまだ影がうすいかもしれない。研究に関しては、2年前からの議論の中でかなり改善されている。さらに公立中学校が使い勝手のよいものにするため、さらに速度を上げて改善していく必要がある。

時代の変化に敏感に反応してきた当校の同窓生・後援会・素心会・教員OB・教員・生徒は、どの時代にあっても同様の壁にぶち当たり、チームでその壁を倒してきた。70周年を迎える現在、その気概に変わりはない。壁が高く厚い時ほど私たちのチーム力はさらに高まる。それこそが附属長岡中学校だ。70周年記念事業を経て、「附属長岡中学校の特色」がよりよく理解され、「行きたい、(子どもを)行かせたい」学校にすべく、気持ちを新たに、歩み続けたい。

後援会主催 素心会共催 創立70周年記念「親子で聞く講演会①」

「わくわく数の世界の大冒険 世界は数学でできている」

7/13(木)、サイエンスナビゲーターの桜井進さん



にお越しいただき、講演会を実施しました。当日は、猛暑日となり体育館の気温も高くなりましたが、それを吹き飛ばすようなパワフル講演で数学の魅力を発信していただきました。また、準備から運営まで教養委員の皆様からお手伝いいただきました。本当にありがとうございました。



長岡校園大運動会9/2(土)に向けて！！

7/12(水)に、小学生と合同の結団式を行いました。小学生と中学生のそれぞれの応援リーダーの下で応援練習がスタートしました。



校園避難訓練を実施しました

7/14(金)に幼稚園・小学校・中学校で一斉に避難訓練を行いました。今回は火災を想定しました。長岡消防署の方にお越しいただき、御指導いただきました。初期消火の訓練も行い、生徒は訓練を通して防災意識を高めています。



「附中メール」から新システムのメール連絡網「ねっとん」に変更します。

8月8日以降、学校からのメール配信は新システムの「ねっとん」を使用します。7月20日に生徒に配布した「登録の手引き」に従って登録をお願いします。御不明な点はお問い合わせください。

中越地区大会結果 7/4・5

種目(会場)	結果
剣道(長岡市市民体育館)	男子団体 予選リーグ2位通過 決勝トーナメント1回戦敗退 女子団体 予選リーグ2位通過 決勝トーナメント2回戦敗退、代表決定戦敗退 男子個人 堀内大暉 ベスト16
柔道(長岡市市民体育館)	軽量級 3回戦進出 代表決定戦敗退 清水颯斗
体操(長岡市器械体操専用練習場)	個人総合2位 佐藤日向子 跳馬4位 平均台2位 ゆか2位 段違い平行棒2位
水泳(タ`イェーブ`ロビ`スフェニックスプール)	400mメドレーリレー5位(井上、小林、大沼、重野) 400mリレー 3位(小林、井上、重野、谷口) 400m自由形7位 重野瞭太 100m自由形4位 小林稜大 100m自由形8位 谷口 諒 100m背泳ぎ4位 井上悠介 50m自由形2位 小林稜大 50m自由形8位 谷口 諒 200m自由形2位 重野瞭太 200m背泳ぎ4位 井上悠介

応援ありがとうございました。

新潟大学教育学部附属長岡中学校 〒940-8530 長岡市学校町1-1-1

Tel 0258-32-4190 Fax 0258-32-6340

Email kobai@nagaoka.ed.niigata-u.ac.jp ホームページ http://www.nagaoka.ed.niigata-u.ac.jp/